

平成 28 年度

# 選挙管理委員会事務局

## の取り組み実績

### 1. 重点施策・事業

#### (1) 任期満了選挙の適正かつ円滑な管理執行

重点施策・事業 における目標	公職選挙法の改正により、選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられ、また、選挙人名簿の登録制度も変更されたことから、平成 27 年度末に選挙人名簿の管理システムの改修を行いました。 7 月執行予定の参議院議員通常選挙は、こうした状況で執行する初めての選挙であり、引き続き、公正、適正かつ効率的な選挙事務を進めていきます。
平成 28 年度の 取り組み	任期満了（平成 28 年 7 月 25 日）に伴う参議院議員通常選挙について、公正、適正かつ効率的な選挙事務の管理執行に努めます。 平成 28 年度当初予算：89,220 千円
平成 28 年度の 実績	7 月 10 日の参議院議員通常選挙の執行にあたっては、選挙期日に向け周到な準備を行い、適正かつ効率的な選挙事務を行いました。 平成 28 年度決算：85,113 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

#### (2) 選挙啓発事業の推進

重点施策・事業 における目標	選挙権年齢の引き下げに伴い、学校での出前講座等の実施、また、選挙時には若者の利用が多いコンビニエンスストアや大学での選挙啓発を充実させ、若年層の投票率向上に向けた取り組みを進めます。
平成 28 年度の 取り組み	選挙権年齢が引き下げられたことで、これから有権者となる中学・高校生を対象に出前講座等を実施し、政治や選挙への参加の重要性を PR します。 また、18 歳選挙権の適用後初めてとなる選挙時の啓発として、若者の利用が多いコンビニエンスストアや大学に協力をお願いし、投票参加を呼びかけるミニのぼりや割り箸袋等を設置し、少しでも若者たちの目に触れてもらう機会を増やすことで若年層の投票率向上をめざします。 平成 28 年度当初予算：848 千円

平成 28 年度の 実績	7月10日執行の参議院議員通常選挙での啓発として、若年層の投票率向上を目的にコンビニエンスストアや大学の協力のもと、投票を呼びかけるミニのぼりや割箸袋の設置を行いました。また、選挙への意識啓発として高校（2校）で出前授業を、中学校（1校）では模擬投票を体験する出前授業を行いました。 平成 28 年度決算：730 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

### （3）投票しやすい環境づくり

重点施策・事業 における目標	公職選挙法が大幅に改正される中、有権者がより一層投票しやすい環境を整備することにより、投票率の向上を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	障害者や高齢者が投票しやすいように、投票所にスロープを設置するなど、引き続きバリアフリー化に努めます。また、若年層への選挙啓発の一環として、関西外国語大学内に期日前投票所を新たに設置するなど、投票の利便性や事務執行の効率性を検討しながら、投票しやすい環境整備に努めます。
平成 28 年度の 実績	7月10日執行の参議院議員通常選挙では、若年層のより一層の政治参画を目的として、関西外国語大学内に新たに期日前投票所を開設し、投票環境の向上を図るとともに、障害者や高齢者が投票しやすい環境づくりに努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

## 2. 行政改革・業務改善

### （1）業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
開票作業の時間短縮（前回参議院比）	平成 28 年 7 月執行予定の参議院議員通常選挙における開票時の人員配置や作業内容の見直しを行い、開票時間の短縮を図ることで執行経費削減につなげる。
実績	7月10日執行の参議院議員通常選挙における選挙区の開票作業については、作業内容の見直しにより、人員を前回の参議院選挙比較 8.8%削減し実施したが、かかった作業時間は同じであり、一定成果があったと思われる。 比例区の開票作業については、作業見直しにより、各担当作業の人員の増減や、担当者等への事前説明を実施したが、前回の参議院選挙比較での作業時間短縮には至らなかった。今回の開票作業を踏まえ改善すべき点などを整理し、次回の開票作業に向け効率化を図っていく。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

### 3. 予算編成・執行

- ◆事務経費の更なる見直しを行うとともに、事務の効率化を進め、経費削減に努めます。

実績	国の選挙執行経費の基準額が厳しくなる中で、選挙物品の購入見直しや投票所における人員配置見直しにより経費削減に努め、国基準内に経費を収めることができました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

### 4. 組織運営・人材育成

- ◆選挙事務を適正かつ円滑に管理執行できるよう、日頃から情報収集に努め、選挙事務に関する知識・ノウハウを事務局内で共有し、事務局全体の機能強化を図ります。

実績	関係法令の問い合わせなどを事務局内全体で共有することで、職員それぞれの知識・ノウハウの向上を図り、事務局全体の機能強化に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆公職選挙法の知識をより深めるために、府下各市の選挙管理委員会で組織する研究会に参加するとともに、職場での勉強会を開催し、適正な選挙事務に対応できるよう、職員力の向上に努めます。

実績	府下各市の選挙管理委員会で組織する研修会に積極的に参加しました。また事前に事務局内でも勉強会を開催し、一人ひとり発表するなど個々の知識向上に努め、事務局内全体で職員力の向上を図りました。 ・大阪府都市選挙管理委員会連合会選挙事務研究会：3回参加
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆朝礼時にスケジュール等の確認を行い、情報の共有化を図ることにより、効率的な事務執行に努めます。

実績	朝礼時のスケジュール等の確認を行うことで、業務の進捗状況を把握し、効率的な事務執行に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

## 5. 広報・情報発信

### ◆ホームページの充実

選挙に関する各種情報を有権者によりわかりやすく情報発信するとともに、投票・開票結果についても広報課と連携し、速やかな情報提供に努めます。また、若年層等への啓発事業の取り組みなどについても情報発信を行います。

実績	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 7月10日執行の参議院議員選挙では、期日前投票の状況や当日の投票及び開票速報を広報課と連携しながら、適宜速やかな情報提供を行いました。</li><li>・ 7月10日執行の参議院議員選挙を前に市内の高校で行った出前授業やこれから有権者となる中学生を対象に模擬投票を体験する出前授業の様子、また、小・中学生より参加を募った選挙に関するポスターコンクールを開催し、優秀作品をホームページで紹介するなどの情報発信に努めました。</li></ul>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】